変額個人年金保険

特別勘定の月次運用実績レポート

2022 年 5 月度



<目次>

1.	特別勘定の種類	1	ページ
2	特別勘定の運用実績・状況	1	ページ
3.	運用環境の主な状況	2	ページ
4.	[参考情報]投資信託の運用実績・状況	3-4	ページ
5.	当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項	5	ページ

[引受保険会社]



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-911-999

月〜金 9:00〜18:00 ± 9:00〜17:00 (日・祝日および12月30日〜1月4日を除く) https://www.axa.co.jp/

特別勘定の種類

特別勘定 [ファンド]名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
グローバル 株式型	主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。	グローバル成長株 ファンド	日興 アセットマネジメント 株式会社
	主に世界各国の公社債などに分散投資することに よって、中長期的な成長を目指します。原則とし て、為替ヘッジは行いません。	グローバル・ボンド・ ファンドVA <適格機関投資家専用>	アバディーン・ ジャパン株式会社

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

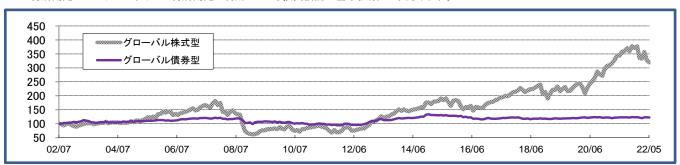
※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

特別勘定の運用実績・状況

(2022年5月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



———————————————— 特別勘定名	ユニット・プライス	騰落率(%)					
村別勘足石	2022年5月末	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
グローバル株式型	319.66	△ 2.14	△ 3.96	△ 14.07	△ 7.04	47.72	219.66
グローバル債券型	122.51	△ 0.44	2.14	△ 0.46	Δ 0.32	3.93	22.51

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。 ※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。

■ 特別勘定資産の内訳 千円単位

	グローバル株式型		グローバル債券型	
	金額	%	金額	%
現預金・その他	202,650	4.0	53,018	4.0
その他有価証券	4,856,393	96.0	1,277,559	96.0
合計	5,059,043	100.0	1,330,578	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■ 日本株式市場

日本株式市場は上昇し、TOPIX(東証株価指数)は前月末比+0.69%の1,912.67ポイントで終えました。月初は、米国株高等を受けて、日本株式市場は上昇しました。その後、米国株安の影響等を受けて、日本株式市場は中旬にかけて下落しました。月末にかけては、米国株式市場が上昇に転じたことや、中国経済への懸念が後退したこと等を受けて、日本株式市場は上昇しました。

日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前月末比+0.04%の32,990.12ドルで終えました。上旬は、4日に、FRB(連邦準備制度理事会)が0.5%の利上げを行ったものの、事前の想定の範囲内であったこと等から、買戻しが入り上昇して始まりました。中旬から下旬にかけては、今後のインフレ抑制を目的とした、積極的な利上げに対する懸念や景気減速懸念等から、米国株式市場は下落しました。その後、米国長期金利が低下したことや、一部に米国の物価上昇の鈍化を示す指標が発表されたこと等から、月末にかけて上昇しました。

欧州株式市場はまちまちの展開となり、独DAX指数は前月末比+2.06%、仏CAC40指数は前月末比-0.99%で終えました。上旬は横這いで推移した後、欧州の景気減速懸念や米国株式安の影響を受けて下落しました。その後、中国経済の改善への期待等から上昇に転じました。月末にかけては、米国株高や中国経済への懸念が後退したこと等から、欧州株式市場は上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利はほぼ横這いで推移し、月末には0.243%となりました(前月末0.230%)。上旬から中旬にかけては、米国長期金利の上昇の影響等から、金利はやや上昇(価格は下落)しました。その後、中旬から下旬にかけては、日銀が連続的に指値オペを実施したことや米国長期金利の低下の影響等から、金利は若干低下(価格は上昇)しました。月末にかけて、金利はやや上昇しましたが、月を通じては、日銀の長期金利の誘導目標の上限(10年金利=0.25%)近辺にてほぼ横這い推移となりました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、月末には2.844%となりました(前月末2.934%)。上旬は、4日にFRBが0.5%の利上げを行いました。今後もインフレ抑制の為に積極的に利上げを行うとの見通し等から、米国長期金利は上昇(価格は下落)しました。その後は、景気減速懸念や一部に物価上昇の鈍化の兆しを示す指標が発表されたこと等から、月末にかけて米国長期金利は低下しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場においては、独10年国債の金利は上昇し、月末には1.122%となりました(前月末0.938%)。上旬はECB(欧州中央銀行)の利上げ観測等から金利は上昇しました。その後、欧州の景気減速懸念や米国長期金利の低下等から、金利が低下する局面もありましたが、月末にかけてECBの利上げ観測が再度高まったこと等から、金利は上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比-0.65円の128.21円となりました。上旬は、米国長期金利の上昇等から、米ドル高/円安の展開となりました。その後は、米国長期金利が低下したことによる日米長期金利差の縮小等から、米ドル安/円高の展開となりました。

ユーロ/円相場は、月末は前月末比+1.93円の137.76円となりました。上旬は、欧州金利上昇の影響等を受けてユーロ高円安の展開となりました。その後、欧州の景気減速懸念等からユーロ安円高となる局面もありましたが、月末にかけては、ECBの利上げ観測の高まり等からユーロ高円安の展開となりました。

グローバル株式型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2022年5月末現在)

グローバル成長株ファンド

日興アセットマネジメント株式会社

■ 投資信託の特徴

日本を含む世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に投資を行ない、中長期的な観点から、 日本を含む世界各国の株式市場全体の動き(MSCIワールド指数(ヘッジなし・円ベース))を上回る投資成果の獲得を目指します。

■ 純資産総額

■ 設定日

54.37 億円

2001年10月2日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	Δ 2.13	△ 3.81	Δ 14.08	△ 5.96	57.17	344.18
ВМ	Δ 0.25	4.80	0.52	10.36	59.69	225.30
差異	Δ 1.88	Δ 8.60	△ 14.60	Δ 16.32	Δ 2.52	118.88

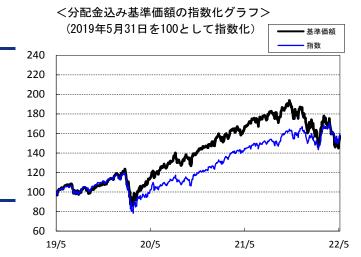
■ ベンチマーク

MSCIワールド指数(ヘッジなし・円ベース)

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。

■ 基準価額の推移

銘柄数 66



■ 株式組入上位10銘柄

	銘柄	通貨	業種	%
1	ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	メディア・娯楽	4.5
2	AMAZON.COM INC	アメリカドル	小売	4.5
3	MASTERCARD INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	3.0
4	ELI LILLY & CO	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	2.5
5	T-MOBILE US INC	アメリカドル	電気通信サービス	2.5
6	BLACKSTONE INC	アメリカドル	各種金融	2.5
7	ANGLO AMERICAN PLC	イギリスポンド	素材	2.4
8	AMERICAN EXPRESS CO	アメリカドル	各種金融	2.3
9	SALESFORCE INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.8
10	ASTRAZENECA PLC	イギリスポンド	医薬品・バイオテクノロジー	1.8

^{※「}株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位10銘柄」の比率は、マザーファンドの状況で、 対純資産総額比です。 「資産構成比」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。

■ 資産構成比(%)

国内株式(先物含む)	5.0
外国株式(先物含む)	91.6
СВ	0.0
公社債	0.0
現金その他	3.4

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	60.8
2	オランダ	6.7
3	イギリス	6.1
4	日本	5.0
5	フランス	4.0

グローバル債券型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2022年5月末現在)

グローバル・ボンド・ファンドVA<適格機関投資家専用>

アバディーン・ジャパン株式会社

■ 投資信託の特徴

主としてFS日本債券マザーファンド受益証券およびFS海外高格付け債マザーファンド受益証券を通じて、日本を含む世界主要国の公社 債に分散投資します。FTSE世界国債インデックス(円ヘッジなし)をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指します。各マザーファン ド受益証券の組入れにあたっては、原則として上記のベンチマークの地域別構成比率を考慮した上で、各マザーファンド受益証券の投資 対象となるアセット・クラスのリスク・リターン分析等を行い、基本的に毎月、資産配分の見直しを行います。ただし、市況が大きく変動した 場合などには、適時、資産配分の見直しを行うことがあります。原則として為替ヘッジは行いません。ただし、為替動向等により円高が見 込まれる場合には、為替ヘッジを行うこともあります。

■ 純資産総額

■ 設定日

125 億円

2002年8月1日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM) 騰落率 表示析数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.32	2.66	0.37	1.39	9.51	73.04
ВМ	△ 1.75	1.47	△ 0.94	△ 0.01	9.81	98.05
差異	1.43	1.20	1.30	1.40	△ 0.31	△ 25.01

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス(円ヘッジなし)

■ 基準価額の推移



注)FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ 債券組入上位10銘柄

組入銘柄数 80

■ 債券組入上位5地域

アメリカ

イタリア

ドイツ

フランス

日本

1

2

3

4

5

地域

比率(%)

26.46

13.81

8.62

7.86

5.83

	銘柄	通貨	償還日	クーポン(%)
1	アメリカ国債	USD	2025/4/30	0.375
2	日本国債	JPY	2025/6/20	2.100
3	ドイツ国債	EUR	2023/10/13	0.000
4	オーストラリア国債	AUD	2027/11/21	2.750
5	アメリカ国債	USD	2041/8/15	1.750
6	アメリカ国債	USD	2023/5/15	0.125
7	メキシコ国債	MXN	2031/5/29	7.750
8	アメリカ国債	USD	2050/5/15	1.250
9	日本国債	JPY	2027/3/20	2.100
10	スペイン国債	EUR	2024/5/31	0.000

	債券組 人	人上[⊽ 5;	通貨

	通貨	比率(%)
1	ㅁ ㅣ	37.55
2	米ドル	26.46
3	日本円	13.81
4	メキシコヘ゜ソ	4.56
5	英ポンド	4.28

※各表の比率は投信の純資産額に対する比率です。

当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項



投資リスクについて

当保険商品の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、 死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格 変動と為替変動等にともなう投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合 計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。



元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払 戻金額等が削減されることがあります。



諸費用について

項目	目的	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	保険契約の締結、維持および管理 等に必要な費用(死亡給付金、災害 死亡給付金を支払うための費用を 含みます。)	特別勘定の資産総額に対し て年率1.6%	据置(運用)期間中、特別勘 定の資産総額に対して年率 /365日を積立金から毎日控 除します。
資産運用関係費 ^{*1}	特別勘定の管理・運用にかかる費用(特別勘定の運用対象となる投資 信託の信託報酬等を含みます。)	グローバル株式型 年率1.2100%程度 グローバル債券型 年率0.4620%程度	据置(運用)期間中、各特別 勘定の運用対象となる投資信 託において、信託財産に対し 左記の率を乗じた金額が、信 託報酬として毎日控除されま す。
契約管理費	基本保険金額が100万円未満のご 契約に対し、保険契約の維持、管理 に必要な費用	毎月500円	ご契約時は一時払保険料から、以降の据置(運用)期間中は月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
解約控除	解約または減額するときに必要な費 用	積立金額に対して10%~1% (経過年数に応じ)	解約時に積立金(減額時は減額に相当する積立金)から控除します。
年金管理費 ^{*2}	年金の支払・管理等に必要な費用	支払年金額に対して1%	年金支払開始日以降、年金 支払日に控除します。

^{*1} 資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。



その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」(「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」)「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。

^{*2} 年金支払特約、年金支払移行特約によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。